

●長周期地震動階級 1 以上を観測した地震

令和 8 年 2 月に長周期地震動階級* 1 以上を観測した地震は 0 回であった。

平成 25 年 3 月～令和 8 年 2 月に長周期地震動階級 1 以上を観測した地震の月別回数

年	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 25 年 (2013 年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成 26 年 (2014 年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成 27 年 (2015 年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成 28 年 (2016 年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成 29 年 (2017 年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成 30 年 (2018 年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成 31 年 /令和元年 (2019 年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和 2 年 (2020 年)	1	1	1	1	0	2	0	0	2	0	1	2	11
令和 3 年 (2021 年)	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6
令和 4 年 (2022 年)	2	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	8
令和 5 年 (2023 年)	0	1	1	0	5	1	0	1	2	0	0	0	11
令和 6 年 (2024 年)	15	0	1	4	0	1	0	1	0	0	1	0	23
令和 7 年 (2025 年)	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	4	3	13
令和 8 年 (2026 年)	3	0											3

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級 1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
長周期地震動階級 2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級 3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級 4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和7年12月号の付録10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

https://www.data.jma.go.jp/egev/data/gaikyo/monthly/202512/202512furoku_10.pdf

なお、気象庁が発表する「長周期地震動に関する観測情報」の最新情報は、気象庁ホームページ（以下 URL）をご覧ください。

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>